

平成22年度 学 校 評 価

本年度の 重点目標	キャリア教育をさらに推進し、自己の将来を考えさせ、自ら向上しようとする意欲を引き出す。 ① 生徒の基本的な生活習慣の確立 ② 基礎学力の向上 ③ 教育課程編成案の作成 ④ 大学、特別支援学校、地元企業等との連携		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	大学、特別支援学校、 地元企業等との連携	・中学校訪問、体験入学、岡工祭等を通して中学校に本校の教育活動をアピールする。 ・中学校訪問の在り方・訪問時期を工夫する。 ・PTA専門委員会の内容を充実させる。	・岡崎地区だけでなく、周辺地域にも積極的にアピールできるように進める。 ・多くの専門委員の方が参加して、専門委員会が活発に行われるように進める。
教務部 各学科 各教科	基礎学力の向上	・授業を受けるマナー8項目を定め、教室掲示して指導する。 ・授業を工夫することによって、生徒が自ら学ぶ姿勢を身につけさせる。	・日頃の教育活動を通して、継続的に指導する。 ・授業の工夫改善により、成績不振者の減少を目指す。
	教育課程編成案の作成	・豊かな教養と工業人として必要な知識・技術 ・技能を身につけることができるような教育課程を編成する。	・専門科目と共通科目のバランスのとれた編成を行う。 ・将来の産業界と今後10年間の工業教育を見据えた新教育課程となるように留意する。
生徒指導部 各学年	生徒の基本的な生活習慣の確立	・制服を正しく着用し、頭髪等も清潔であることを保つようにする。 ・入室許可証を利用して、遅刻指導の強化と継続性を図る。 ・教室、実習室、部活動の活動場所などの美化に努める。 ・登下校を含め、生徒の安全を確保する。	・安易な欠席、遅刻を減らすよう積極的に働きかける。 ・生徒が落ち着いて学習、部活動、技術・技能の習得に専念できるようにする。 ・個人の所有物の管理を徹底し、盗難・紛失等の防止に努める。
生徒会部 各学年	生徒の基本的な生活習慣の確立	・学校行事に対し、生徒が主体的に取り組むように、教員が積極的に支援する。 ・生徒会や各部の部長を中心にリーダーシップを養い、生徒会活動や部活動の活性化を図る。	・学校行事や部活動等の内容を充実させ、たくましい心やからだの育成に努める。 ・ボランティア活動の充実にも努め、豊かな人間性をはぐくむ。
保健部	生徒の基本的な生活習慣の確立	・生徒の委員会活動による清掃点検、特別清掃を実施する。	・校内美化に対する、全生徒への意識付けを機会をとらえて行う。
	大学、特別支援学校、 地元企業等との連携	・特別支援教育に関する校内研修会を実施する。 ・近隣の特別支援学校との連携を図る。	・全職員が参加できる研修会を企画する。 ・生徒間の交流も行えるように進める。
図書部	基礎学力の向上	・図書館利用率の向上のため、以下の方策を推進する。 (生徒の視野を広げる質の高い書籍の充実、授業や調べ物学習に役立つ教材用図書の充実、授業やLTでの図書館の積極的利用、生徒作品を掲載した新しい図書館誌の発行(年刊)、読書会、映画会に加え、新イベントの企画実行)	・図書館購入雑誌の再検討を行い、生徒の実態に合った年間購読雑誌を決定する。 ・図書館で購入する書籍について、職員に周知してもらう方法を検討する。 ・書籍管理の図書館への一元化に対応し、不要となった図書の積極的廃棄と、新たな書籍設置スペースの確保に努める。
進路指導部 各学年	キャリア教育の推進	・「進路のてびき」の精選、ガイダンスや外部講師の講話、進学説明会等を通して、学年ごとに適切な目標をもたせ、意識の向上を図る。 ・就職希望者には2年生学年末から就職模試を実施し、進学希望者には3年生から進学補習を実施する。	・各学年ごとに、「てびき」を含め必要な情報を的確に提供する。 ・学年会、学科主任会との連携を密にする。 ・生徒自身が就職、進学、それぞれの将来像を描けるように指導する。 ・コミュニケーション能力の育成を念頭に置いた指導をする。
工務部 各学科	基礎学力の向上	・生徒が資格取得に取り組み、ジュニアマイスター取得人数が増加するように推進する。 ・各種資格試験の実施方法を検討し、担当者の士気を高め業務の効率化を図る。	・生徒に資格取得状況等の適切な情報を伝え、目標を持って取り組めるようにする。 ・各科の検定係との連絡を密にし、試験やデータ処理、管理がスムーズに行われるようにする。
研修情報部 各学科	大学、特別支援学校、 地元企業等との連携	・ネットワークの拡張と既存施設の整備、更新を行う。 ・各種データを集約・管理し、効率的かつ安全性の高い運用を目指す。 ・ホームページの学科情報や学校行事を適宜更新し、最新の情報を公開できるように取り組む。	・セキュリティーポリシーを十分に遵守して行う。 ・情報データは慎重に管理する。 ・最新情報の収集ができる体制の確立を目指す。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	・生徒の基本的な生活習慣の確立について ・基礎学力の向上について		